

# 観光地域づくり先進事例集

令和4年3月

【事例 1】サイクリングツアーによる地域活性化（SATOYAMA EXPERIENCE（岐阜県飛騨市））	1
【事例 2】山里暮らしの「豊か」に触れる滞在コンテンツ（株式会社 EDGE（山梨県小菅村））	2
【事例 3】地域のシンボルを活かした魅力発信・総合観光案内（桜の馬場 城彩苑（熊本県熊本市））	3
【事例 4】非日常を体験できる標高 1,900m の期間限定特等席（清里テラス（山梨県北杜市「サンメドウズ清里」施設内））	4
【事例 5】伊吹山におけるグランピング施設（グランエレメント（滋賀県米原市））	5
【事例 6】白馬村観光局インフォメーション@スノーピーク（白馬村観光局インフォメーション（長野県白馬村））	6
【事例 7】リバーポートパーク美濃加茂の整備・運営による新たな賑わいの創出（リバーポートパーク美濃加茂（岐阜県美濃加茂市））	7
【事例 8】冬季観光需要の喚起－冬の極寒を逆手に取った観光誘客の取り込み－（津軽地吹雪会ほか）	8
【事例 9】近隣県連携による広域周遊観光の推進－金沢を訪問する観光客の南砺市への取り込み－（南砺市観光協会）	9
【事例 10】手すり等を廃止し SNS 映えするよう景観に配慮した取組（びわ湖テラス（滋賀県大津市））	10
【事例 11】SNS 映えする川床（水辺区間での休憩スペース）の設置（鶴仙溪 川床（石川県加賀市山中温泉））	11
【事例 12】茨城県内のサイクルツーリズムの宿泊拠点化（星野リゾート BEB5 土浦（茨城県））	12
【事例 13】全県サイクルツーリズムの推進（サイクリング王国いばらきを目指した各種施策の展開）（つくば霞ヶ浦りんりんロード（茨城県））	14

## 【事例 1】

事例名	サイクリングツアーによる地域活性化
実施主体等	SATOYAMA EXPERIENCE（岐阜県飛騨市）
概要	外国人観光客向けのツアーを企画する SATOYAMA EXPERIENCE が、飛騨地域の自然や伝統、生活文化に触れることができる着地型旅行商品として飛騨古川の町を一周するサイクリングツアーを実施。
戦略	飛騨地域の伝統的な生活や文化に興味のある欧米豪の旅行客をターゲットに、里山に受け継がれてきた保存食の作り方や祭り、伝統行事等の情報を発信。
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行口コミサイト「トリップアドバイザー」において、地方部アクティビティ領域で日本一となる1千件を超えるレビューを獲得し、その9割以上で最高評価を獲得。</li> <li>・スタッフの大半が都市部からの移住者であり、その家族等も含めて30~40人が飛騨地域に移住しており、雇用創出・定住人口の確保にも貢献。</li> </ul>
備考	SATOYAMA EXPERIENCE を運営する(株)美ら地球では、サイクリングツアーのほか、冬季のスノーシューによるウォーキングツアーやローカルにこだわった宿泊事業等も実施。



里山サイクリング



里山スノーシュー



里山ステイ

## 【事例 2】

事例名	山里暮らしの「豊か」に触れる滞在コンテンツ
実施主体等	株式会社 EDGE（山梨県小菅村）
概要	「700 人の村が一つのホテルに」をコンセプトに、古民家宿泊や農業体験等を複合的に組み合わせ、山里暮らしの「豊か」に触れる滞在コンテンツを提供。
戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宿泊者は、村の各地に点在する古民家に滞在しながら、周辺の自然を散策し、自転車で村全体を巡り、村人と触れ合うことで、村人の一人のような「豊かな暮らし」を体験できる。</li> <li>・ スタッフは全員が村人であり、食材も地産地消にこだわったものが提供されるなど、ありのままの地域の良さが感じられるほか、温泉施設「小菅の湯」や電動アシスト付き自転車が無料で利用できるなど、村全体を楽しむための仕組みづくりがなされている。</li> <li>・ 村内事業者（農家・狩猟・NPO・クラフトビール工場）などとも連携し、小菅村だからこそできる観光体験を提供しているほか、宿泊者に地域内の飲食店、商店、野外体験施設、温浴施設などを積極的に利用してもらい、地域全体で観光客をもてなす事業展開を行っている。</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和 2 年観光入込客数調査：利用者 1,322 人（※一日 4 組限定）</li> <li>・ 東京都心から車で約 2 時間という立地を活かし、マイクロツーリズムによる地産地消の促進や地域内での人々のつながりの強化、経済循環の活発化などの効果も期待されている。</li> </ul>
備考	事業主体は(株)EDGE（(株)NOTE、(株)さとゆめ、小菅村の 3 者が共同出資）



### 【事例3】

事例名	地域のシンボルを活かした魅力発信・総合観光案内
実施主体等	桜の馬場 城彩苑（熊本県熊本市）
概要	日本3名城の一つに数えられる熊本城のエントランスエリアには、地域の食文化や歴史、伝統の発信をコンセプトとして、熊本の豊かな食文化や特産品に出会える「桜の小路」や、体験や展示等を通じ肥後54万石の歴史と文化を体感できる熊本城ミュージアム「わくわく座」、ボランティアガイドが常駐し外国語にも対応した「総合観光案内所」が一体的に整備されている。
戦略	<p>&lt;桜の小路&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熊本県下から選りすぐりの銘店が軒を連ねるお食事・お土産処。観光客等の動線は、江戸時代の城下町を再現した小路で、当時の雰囲気を感じながら、熊本ならではの美味しいグルメを食べ歩きできる。</li> </ul> <p>&lt;わくわく座&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・VRにより、江戸時代から熊本地震（2016年）前の熊本城を大迫力の映像で紹介（新たに整備した「熊本城特別見学通路」の見どころ解説も追加）。プロジェクションマッピングでは、映像と音により熊本地震時の被災状況を再現。</li> <li>・ファミリー層やカップル等を中心に、江戸時代の町娘や忍者の衣装を着る「なりきり体験」が人気（家族全員で楽しめるよう、赤ちゃん～大人サイズの衣装を幅広く用意）。</li> </ul> <p>&lt;総合観光案内所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語対応の観光案内所。観光パンフレットは8言語（日・英・韓・簡・繁・泰・仏・独）を配備。</li> </ul>
効果	熊本城入口まで続く行幸坂に隣接しており、熊本城・（二の丸）広場へ向かう多くの観光客が立ち寄り、2019年は年間約120万人を集客。
備考	<p>&lt;PFI事業による運営管理&gt;</p> <p>「わくわく座」は熊本城観光交流サービス(株)が、「桜の小路」は熊本城桜の馬場リテール(株)が運営管理。</p>



熊本城と桜の馬場観光交流施設「城彩苑」



わくわく座



熊本城被災・復旧  
プロジェクションマッピング



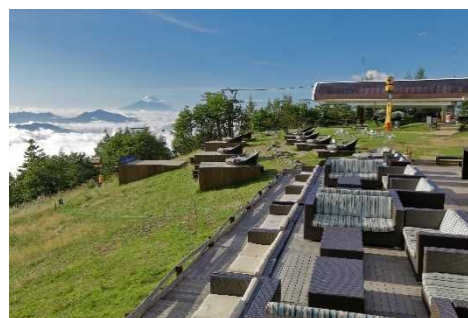
桜の小路(昼間)



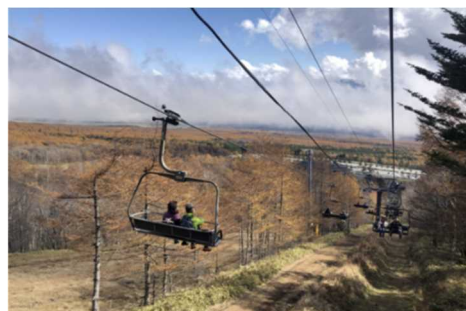
桜の小路(夜間)

## 【事例 4】

事例名	非日常を体験できる標高 1,900m の期間限定特等席
実施主体等	清里テラス（山梨県北杜市「サンメドウズ清里」施設内）
概要	スキー場の山頂付近にある「清里テラス」において、大パノラマの景色を眺めながら、大きなソファに寝そべりくつろぐなど、非日常の時間を過ごすことができる。
戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 非日常空間、プレミアム感の創出のため、テラスにはリフトを降りてすぐの場所に、寝そべりながら景色を一望できるソファ（混雑時は砂時計により 30 分間の時間制限）を設置するほか、絶景を見渡せる展望デッキ、こだわりのコーヒーが自慢のカフェスタンドなども併設。</li> <li>・ 予約専用席として「プレミアムシート」を用意し、至福のひとときを演出。また、「デイキャンプスペース」では地元食材を用いた BBQ を楽しめる。</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 真夏も涼しく、首都圏から日帰りで行けるマウンテンリゾートとして集客効果を発揮しており、SNS での関連投稿は数万件。</li> <li>・ 冬はスキー場、緑の季節は高原リゾートとして、施設の通年活用が可能となった。</li> </ul>
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県有林の貸付を受けた民間会社が整備。「ハヶ岳ツーリズムマネジメント」（日本版 DMO）が中心となり、星空観察ツアーなども開催。</li> </ul>



大自然、非日常の空間を堪能できる「清里テラス」



麓から「パノラマリフト」に乗って約 10 分間の空中散歩

## 【事例5】

事例名	伊吹山におけるグランピング施設
実施主体等	グランエレメント（滋賀県米原市）
概要	伊吹山の麓に設置されたオールインクルーシブのグランピング施設
戦略	<p>&lt;グランピング施設&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グランピング施設内での活動に必要なものは事前に料金に含まれており、財布を持たずに手ぶらで楽しむことができる。</li> <li>※グランピング施設での当該システムの導入は国内初。</li> </ul> <p>&lt;地元食材にこだわり地域連携を図る取組&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提供する食材は地元食材にこだわっている。地域にないものは生産者と連携し、地元農家で特別に生産してもらうなど、生産者と連携し、地域として都市部のお客様の受入れを行い、地域の良さを知ってもらえるよう取り組んでいる。</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーンパーク山東の入込客数は事業転換前の20倍以上</li> <li>・ミニゴルフ場（グランエレメント建設前）時代は男性客中心だったが、現在は子どもや家族連れでの利用が増加し、幅広い世代の方に地域の魅力を知ってもらう機会となっている。</li> <li>・運営元の奥伊吹観光株式会社としても通年観光、社員の通年雇用が可能。他県からの移住者も増え、10年前は0人であった10歳以下人口が12人となるなど、変化が見られている。</li> </ul>
備考	運営会社の奥伊吹観光株式会社はグリーンパーク山東など総合公園の指定管理者（グランエレメントは自主事業）



ロータステントやヴィラなど様々なタイプの客室



カヌーやテニス等も無料



コンシェルジュが夕食、朝食を目の前で準備

## 【事例6】

事例名	白馬村観光局インフォメーション@スノーピーク
実施主体等	白馬村観光局インフォメーション（長野県白馬村）
概要	スノーピークが運営する総合的なアウトドア商業施設に併設する白馬村の観光案内所
戦略	白馬村の新たな観光拠点にスタッフ常駐の観光案内所が設置されており、国内外から訪れる旅行者への案内や各種サービスの提供、白馬山麓エリアの観光情報やイベント情報を入手できるほか、現地ならではの情報がそろっている。また、宿泊施設やアクティビティ・マイスターツアーなど各種施設の予約・手配、各種チケット販売も対応している。
効果	白馬村の新たな観光拠点となっている。
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)スノーピーク、(株)スノーピーク白馬（※）が白馬村と包括連携協定締結。</li> <li>・※2018年9月(株)スノーピークと地域大手白馬観光開発(株)が共同で設立。</li> <li>・広い芝生エリアでは、地域の事業者が優先的に出店できるマルシェも定期的開催されている。(出展料は破格の500円。スノーピークのテント等も準備されている。)</li> <li>・白馬にはその他、様々なアウトドアブランドの路面店が多く存在しており、登山客等の下山後の滞在時間延長にも寄与している。</li> </ul>



隈研吾建設の建物



観光案内所(遠景)



多数の観光パンフレットが並ぶ



## 【事例 7】

事例名	リバーポートパーク美濃加茂の整備・運営による新たな賑わいの創出
実施主体等	リバーポートパーク美濃加茂（岐阜県美濃加茂市）
概要	木曽川の地域資源を活かしたリバーポートパーク美濃加茂を設置し、新たな賑わいを創出（国土交通省の「かわまちづくり支援制度」も利用）。
戦略	<p>&lt;川遊び&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもから大人まで、気軽にサップやラフティングなど川遊びが楽しめる。</li> </ul> <p>&lt;BBQ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食材や食器が準備され、手ぶらでBBQが気軽に利用できるほか、フォトジェニックにこだわった空間の演出がされている。</li> <li>・入込が減少する冬期においてはこたつや薪ストーブなどを活用し、冬ならではの楽しみ方を提案している。</li> </ul>
効果	入込客数が供用開始により約2.5倍となった。
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜県郡上市で実績があるアウトドア会社がアクティビティの運用をしている。</li> <li>・指定管理の管理運営方法を工夫し、自主事業の規模と自由度を大きくしている。</li> </ul>



リバーポートパーク全景



こたつでBBQ(冬期)





水上アクティビティも多数

## 【事例 8】

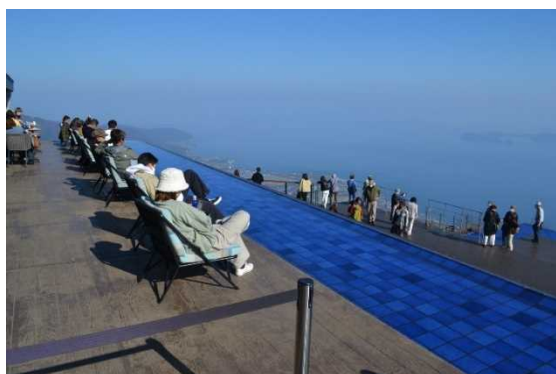
事例名	<p>冬季観光需要の喚起          ー冬の極寒を逆手に取った観光誘客の取り込みー</p>
実施主体等	<p>＜地吹雪体験ツアー＞          津軽地吹雪会          ＜奥入瀬渓流水瀑ツアー＞          十和田市、運営：（一社）十和田奥入瀬観光機構          ＜スキー場スノーアクティビティ体験エリア整備＞          十和田市</p>
概要	<p>観光客の入込数が落ち込む冬季において、極寒を逆に利用する着地型旅行商品の開発や観光PRを実施し、旅行喚起、観光誘客を図る。</p>
戦略	<p>＜地吹雪体験ツアー＞          地面に積もった雪が強風で舞い上がる津軽名物の「地吹雪」を実際に体験できる雪国ならではのユニークな着地型商品</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: right;">写真提供：五所川原市</p> <p>＜奥入瀬渓流水瀑ツアー＞          新緑、紅葉の観光シーズンを終えて観光客が減少する冬の奥入瀬・十和田湖エリアへの誘客を図るため、氷瀑や氷柱をライトアップして鑑賞するナイトバスツアーやネイチャーツアーなど、冬だからこそその景色を観光素材化し商品化。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>◎十和田奥入瀬観光機構              ネイチャーガイドツアー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>◎十和田奥入瀬観光機構              氷瀑ナイトツアー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>◎十和田湖冬物語実行委員会 / 撮影：小山田邦哉              「カミのすむ山十和田湖 FeStALuCe」              同時期に開催される十和田湖伝説の世界をモチーフにしたイルミネーションイベント</p> </div> </div> <p>＜スキー場スノーアクティビティ体験エリア整備＞          スキーやスノーボード以外にも、スノーチューブやそり遊びなど、観光客が気軽に雪を楽しむことができるスノーパークを整備。観光客の滞在時間の延長や満足度向上につなげる。</p>
効果	<p>観光客が減少する冬季における旅行喚起、観光需要の底上げ</p>

## 【事例9】

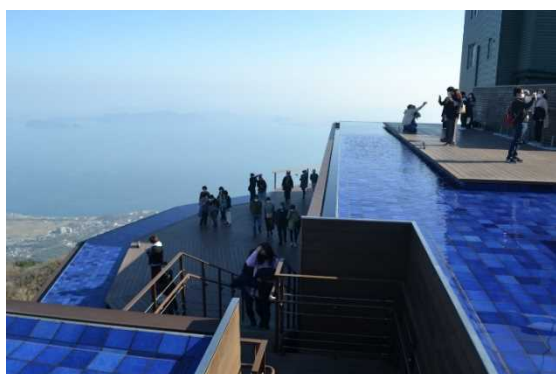
事例名	近隣県連携による広域周遊観光の推進 －金沢を訪問する観光客の南砺市への取り込み－
実施主体等	南砺市観光協会
概要	金沢に宿泊する観光客による南砺市への日帰り旅行を促す施策を展開し、県外から市内への観光誘客を推進。
戦略	<p>＜金沢ホテル懇話会（金澤八家：金沢市内8ホテルで組織）との連携＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホテルコンシェルジュによる宿泊客への南砺観光の案内を実施</li> <li>・ 金澤八家にご宿泊いただいたお客様に「殿さま街道フリーパス（金沢～南砺間バス）」を割引価格にて販売</li> <li>・ 金澤八家の宿泊と南砺の観光をセットにした「宿泊プラン」を金澤八家各ホテルにて造成販売</li> <li>・ 金澤八家のホテル担当者を対象とした南砺市内の現地視察を定期的 に開催</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">現地視察の様子</p> <p>＜金沢市観光協会との連携＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 金沢市現地観光プラン紹介サイト「かなざわ自由時間」への南砺市観光プランの掲載（金沢市観光協会によりバスツアー造成）</li> </ul> <p>＜石川県観光連盟との連携＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 金沢駅観光案内所で「殿さま街道フリーパス」を発売</li> <li>・ 金沢中央観光案内所にて南砺の情報発信</li> </ul> <p>＜金沢市観光課との連携＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 金沢市が実施する修学旅行誘致のセールスにおいて南砺市の情報を提供</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国内外から金沢を訪問する観光客の取り込みによる市内観光客増</li> <li>・ 金沢からの観光流動の拡大</li> <li>・ 金沢を含む広域周遊における「南砺の観光」と「南砺でのアクティビティ」のイメージ定着</li> </ul>

## 【事例 10】

事例名	手すり等を廃止し SNS 映えするよう景観に配慮した取組
実施主体等	びわ湖テラス（滋賀県大津市）
概要	びわ湖バレイのロープウェイを降りた、山頂のびわ湖テラスにおいて、手すりの代わりに水辺空間とし、SNS 映えするよう景観に配慮を徹底。
戦略	ブランド価値向上のための以下の取組を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 黒を基調としたデザイン性の高いパンフレットの作成</li> <li>・ パウチやテプラでの案内板はブランド価値を下げるため禁止</li> <li>・ 山頂のレストラン「ダイニング LAKE VIEW」では、ゲレンデ食堂（カレー500円）のイメージを払しょくし、近江牛カレー2500円を提供。</li> </ul>
効果	SNS やパンフレットで綺麗な写真が次々と話題になり、8月がお客様のピーク（以前はスキーシーズンがピーク）となった。
備考	日本ケーブルの関連会社 NC リゾートマネジメントが全国8カ所のリゾート地のロープウェイを経営



グランドテラスから琵琶湖を望む



ノーステラスから琵琶湖を望む

## 【事例 11】

事例名	SNS 映えする川床（水辺区間での休憩スペース）の設置
実施主体等	鶴仙溪 川床（石川県加賀市山中温泉）
概要	山中温泉の観光スポットの一つである鶴仙溪に、比較的簡単に設置できる川床を4～10月の間設置し、新しい観光スポットとして話題になっている。
戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩いて楽しむだけだった溪谷に、SNS 映えする川床を設置。</li> <li>赤いパラソルと道場六三郎監修のスイーツで観光客をお出迎え。</li> </ul>
効果	SNS で話題となり、北陸の観光ポスターや PR 誌の表紙に登場。



山中温泉鶴仙溪の川床(写真は H29.10 時点)

### 鶴仙溪 川床のご案内

営業時間 9:30～16:00

**川床セット** 大人 600 円、小学生 500 円  
席料(加賀抹茶付)と道場スイーツ  
 (スイーツは冷製抹茶しるこ・川床ロールより選択)

**お席料** 大人 300 円、小学生 200 円

(山中温泉宿泊者は、お席料100円引(※旅館組合加盟旅館宿泊者のみ))

■お席にはご注文の後にお座り下さい。  
また、お客様で混み合う際には合い席となります。

■アルコール類はご遠慮願います。  
ゴミ等は必ずお持ち帰り下さい。

【全席禁煙】



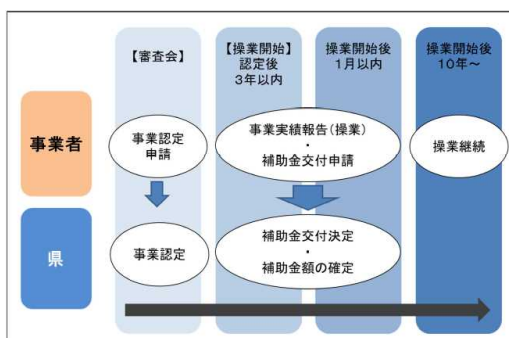

冷製抹茶しるこ 川床ロール

山中温泉観光協会

道場六三郎氏監修のスイーツ

## 【事例 12】

事例名	茨城県内のサイクルツーリズムの宿泊拠点化
実施主体等	星野リゾート BEB5 土浦（茨城県）
概要	訪日外国人等の獲得や観光消費額の増加を図るため、宿泊施設の誘致促進を目的とする「茨城県宿泊施設立地促進事業補助金」により事業認定を受けた(株)アトレと星野リゾートが連携して、サイクリング王国いばらきの拠点施設「BEB5 土浦」を整備。
認定事業	<p>&lt;ホテル名称&gt; 星野リゾート BEB5 土浦</p> <p>&lt;事業主体&gt; (株)アトレ</p> <p>&lt;運営会社&gt; 星野リゾート</p> <p>&lt;客室数等&gt; 客室数 90 室、平均客室面積 約 26 m<sup>2</sup>、延床面積 約 5,000 m<sup>2</sup></p> <p>&lt;補助金額&gt; 約 1 億円</p>
効果	ホテルの入り口が、JR土浦駅の改札口の目の前にあることから、サイクリストにとって利便性の高い施設となっている。



宿泊施設立地促進事業フロー図



コンバージョン図(プレイアトレ)



ホテル入口(駅改札の正面)



部屋のドア  
(室内より)

部屋の内部



【BEB5 土浦】



ホテル入口



ロビー



空気入れ(ロビー)



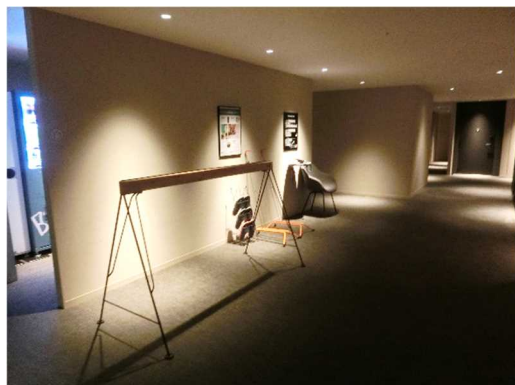
スムージーを作るバイク



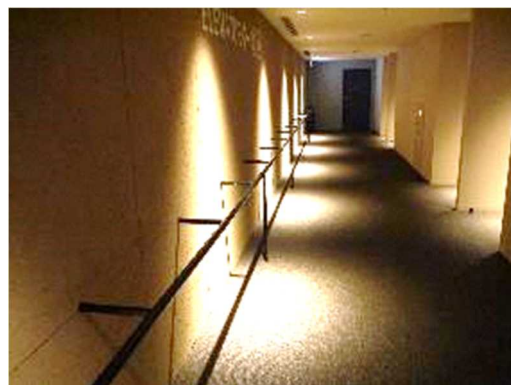
観光情報



メンテナンススペース



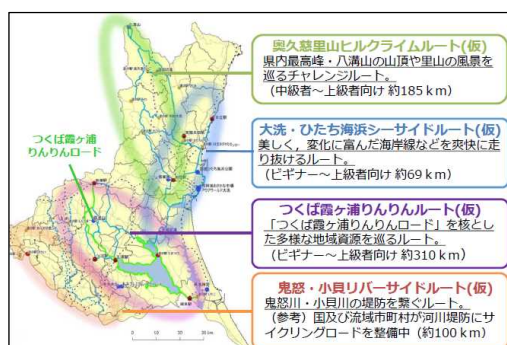
サイクルラック(5F 宿泊フロア)



部屋前通路

## 【事例 13】

事例名	全県サイクルツーリズムの推進（サイクリング王国いばらきを目指した各種施策の展開）
実施主体等	つくば霞ヶ浦りんりんロード（茨城県）
概要	「いばらきサイクルツーリズム構想」（H31.2 策定）において、つくば霞ヶ浦りんりんロードを含む4つのモデルルートを設定し、サイクルツーリズムを推進するため、誘客の仕掛けなど4つの取組みを展開。
戦略	<p>&lt;ターゲットや地域資源のセグメント分けに応じた誘客の仕掛け&gt;</p> <p>サイクリングコースの設定、サイクリングツアーの推進等</p> <p>&lt;効果的で多様な情報発信&gt;</p> <p>首都圏や海外でのサイクルイベントへの出展等</p> <p>&lt;サイクリストの受入体制整備&gt;</p> <p>茨城空港や道の駅等のサイクル拠点化の検討等</p> <p>&lt;自転車走行空間の整備&gt;</p> <p>自転車走行空間（サイン表示）の整備推進等</p>
効果	令和元年 11 月にナショナルサイクルルートに指定（国内3か所）されたほか、「つくば霞ヶ浦りんりんロード」の利用者が増加（H29：55千人→R1：93千人）



4つのモデルルート



コースの案内看板



サイクル情報



サイクルショップ(販売・レンタル)



路面標示



## 1 土浦駅・土浦駅周辺



土浦駅改札



輪行バック者用の改札



土浦駅周辺の路面標示

## 2 プレイアトレ（土浦駅ビル）



駅ビル内のブルーライン



自転車でコンビニ入店



飲食店内のサイクルラック



シャワールーム(有料)



無料更衣室



宅配ロッカー

## 3 宿泊施設（BEB5 土浦）



ホテル入口



部屋前通路



メンテナンススペース

## 4 周辺環境



サイクルパーツ用自販機



サポートステーション用のぼり・ステッカー

